

第 32 回千曲市都市計画審議会

議 事 録

令和 5 年 5 月 12 日
千曲市都市計画審議会

第 32 回千曲市都市計画審議会議事録

○ 開催日時

令和 5 年 5 月 12 日（金）午後 1 時 30 分から午後 3 時 00 分まで

○ 開催場所

千曲市役所 5 階 第 1 委員会室

○ 出席者

委員 12 名 ※欠席者 0 名

随行者 1 名

市 14 名：副市長

幹事 2 名（企画政策部長、経済部長）

説明員 4 名（建設部上下水道課長、同上下水道課下水道係係員、
同道路河川課建設係長、
企画政策部地域開発推進室開発推進係係員）

事務局 7 名（建設部長、建設部都市計画課長、
同都市計画課計画係長、同都市計画課施設係長、
同都市計画課計画係係員 3 名）

1 開 会（都市計画課長）

2 市長あいさつ（大内副市長）

3 自己紹介

- ・委員、随行者、幹事、説明員、事務局の順に行う。

4 臨時議長選出

- ・会長選出までの間の臨時議長に副市長を選出する。
- ・議事録署名人を選任する。

5 議 事

（1）選 第 1 号 千曲市都市計画審議会会長の互選について

- ・会長に千曲商工会議所会頭の武井委員を推す発言あり。
- ・他に意見なく、互選の結果、会長に武井委員を選任する。
- ・議長を副市長から会長に交代する。
- ・副市長、公務のため退出する。

(2) 調査審議 千曲都市計画下水道の変更について

事務局： 事務局より、下水道の説明に先立ち「都市計画制度の概要」を説明。

説明員： 説明員より「千曲都市計画下水道の変更について」について説明。

【以下、質疑応答】

委員： (資料②の) (2) 事業の概要の中で、公共下水道と統合したほうがライフサイクルコストの最小化が図れると。
ここでライフサイクルコストという言葉が使われることは違和感を覚えた。

言葉の使い方を確認して欲しい。

説明員： 下水を処理する施設の維持管理の面から考えてライフサイクルコストという言葉を使わせていただいた。

全体の施設の更新のコストや今後経済比較をした場合、どちらの方が有利かどうかということを考えて使用している。

委員： いまの話ではライフサイクルコストというよりも、維持管理費用が少なくなるという方が実情に即している。

通常ライフサイクルコストというと供用開始から撤去までを含めていくらかかるかという話となる。

(言葉の使い方について) ご検討いただきたい。

説明員： 内容を改めて検討し、修正していきたい。

- ・「千曲都市計画下水道の変更について」は、事務局説明を基本に手続きを進めるよう原案の通り承認された。

(3) 調査審議 千曲都市計画道路一重山線の変更について

事務局： 事務局より資料「千曲都市計画道路一重山線の変更について」を説明。

説明員： 説明員より資料「都市計画道路一重山線整備効果」を説明。

説明員より資料「屋代スマートインターチェンジにおける国による準備段階調査箇所への選定について」他を説明。

【以下、質疑応答】

委員： 都市計画道路の変更はスマートインターチェンジの設置が前提で、その前に計画道路をやることは当然であるが、私の経験では、新幹線新駅誘致の際に、スマートインターが来る来ると言ってなかなか

実現出来なかった経験がある。

令和5年度新規事業に向けて、国の調査段階から県の認可と国の認可は最終的にはどの辺（いつ頃）を市としては想定して、それに基づいていつから（都市計画道路を）変更するのかという点をお聞かせ願えればありがたい。

説明員：（屋代スマートインターチェンジは）昨年の令和4年9月30日に準備段階調査に選定された。

先ほどの資料の右上をご覧ください。

この事業自体は国による事業であるので、あくまで国が事業化を判断するというものである。

昨年度同時期に7か所が新規事業化されている。

我々としては、今後新規事業化を目指すという立場であるので、昨年と同じくらいの時期に、準備段階調査から新規事業化に着手いただける形を想定して、市としても進めていきたいという考えである。

委員：国の予算の関係もあり難しいとおもうが、国の調査に千曲市のインターが入っているということであると思う。

極めて政治的な話となるとおもうが、市議会の方も恐らく国土交通省に（要望に）行っていると思うがその辺の感触はどうか。

不確定で言えない部分もあるかと思うが、今の進め方で行けるかどうか。

（市議会議員の委員に対して）都市計画道路の変更という大きな問題があるので言える範囲でお聞かせいただけるとありがたい。

委員：委員のおっしゃる通り、国対して強い要望を担当部署及び議会で重ねている。

当然、最初の準備段階に入ってきたので、議会としてはやっていけるものだと判断している。

それ故、今回こうした都市計画道路の変更についても、各常任委員会においても色々審議しているが、その辺は進めていこうとなっている。

議会も当然ながらこのスマートインターチェンジに関しては推進していくつもりでいる。

- ・「千曲都市計画道路一重山線の変更について」は、事務局説明の通り手続きを進めることについて承認された。

(4) 調査審議 千曲都市計画道路屋代東線の廃止について

事務局： 事務局より資料「千曲都市計画道路屋代東線の廃止について」を説明。

【質疑なし】

- ・「千曲都市計画道路屋代東線の廃止について」は、事務局説明の通り手続きを進めることについて承認された。

(5) 調査審議 千曲都市計画道路千曲線の変更について

事務局： 事務局より資料「千曲都市計画道路千曲線の変更について」を説明。

【以下、質疑応答】

委員： わたしも毎日、この道路を使って万葉温泉に行っているが、実情を見てみると、(北から戸倉体育館前交差点に向かってくると) 両側へ車が流れていき、この変更による利便性の改善はあまり期待できないのではないかと。

特に、この地域は住宅が密集しており、住民の皆さんの意見がどうなるか。相当な費用と時間がかかるのではないかと。

その点では、住民説明会で十分検討をしていただきたい。

消防署や幼稚園があるため途中から広げる手もある。色々な工夫をしないと、かえって住民の反発を招く可能性があるのではないかとと思う。

住民説明会で十分に説明をし、合意の上で都市計画変更をする方が効率的で時間短縮できるのではないかと。

一方的に決定したというスタンスではなく、相当慎重に住民の方と打ち合わせし、スムーズに行くようにご検討いただきたい。

わたしは相当抵抗があるのではないかとと思う。

けっして反対ではないが、意見として申し上げる。

事務局： ありがとうございます。

住民説明会は7月12日に予定している。そこで十分説明をし、スケジュールの12月に審議会を予定しているが、そこで状況をご説明させていただく。

いずれにしても、丁寧に説明していきたいと思っているのでよろしくお願ひしたい。

会長： (委員に対して) よろしいか。

委員： 結構。

会長： それでは、住民の皆さんにご賛同いただくような形で住民会を進めていただくようお願いする。

- ・「千曲都市計画道路千曲線の変更について」は、事務局説明の通り手続きを進めることについて承認された。
- ・全ての議事が終了し議長が退任する。

6 閉 会（都市計画課長）

- ・委員より、市道路行政計画の方向性について参考として発言あり。また別の委員よりこの内容に関する発言あり。
- ・都市計画課長より、次回の審議会の予定について説明（令和5年7月7日（金））。

以上